

令和4年度 元石川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上	法令の遵守、服務規律の徹底。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、事故防止会議等で、全職員に対し情報共有や注意喚起を行い、意識向上を図った。全職員を対象として校長との個別面談を実施し、不祥事防止の徹底を図った。
② 職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、事例を基に注意喚起を行い、全職員が当事者意識を持つことができた。人権教育研修を実施し、人権感覚の醸成と人権意識の向上が図れた。
③ 生徒に対するわいせつ・ハラスメント行為の防止	生徒の人権尊重。わいせつ・セクハラ行為の未然防止。	職員一人ひとりが他者を尊重し、人権に配慮して職務を遂行する意識を高めるよう、研修等を実施した。管理職は、風通しの良い職場を目指し、相談しやすい環境づくりに努めた。
④ 体罰・不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進。不適切指導の防止。	教育相談コーディネータを中心に生徒情報の共有と生徒理解を深め、丁寧に粘り強い対応を行った。生徒指導については常に複数職員による指導を徹底した。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止。	入学者選抜では、マニュアルに基づいて間違いのない業務を徹底した。成績処理関係書類の作成及び取扱いについては、研修や日々の注意喚起を通して徹底を図り、人為的ミスが生じても事故につながらないようにした。進路関係書類の作成では、複数チェック体制で適切な処理に努めた。
⑥ 個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、教務手帳や個人情報の管理及び誤廃棄防止の徹底を全職員で再確認した。全職員に対し情報セキュリティ対策に関する意識の向上が図れた。
⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を全職員で活用し、交通法規遵守の意識の向上と、事故発生後の適切な対応について確認を行った。
⑧ 業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止。	Teamsによるファイル管理や打ち合わせの効率化により、業務の負担軽減を図ることができた。複数職員での業務遂行、チェック体制により事故防止が図れた。
⑨ 財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止。	財務センターを軸に会計担当者相互に情報を共有し、経理処理の適正執行に努めた。インターネットバンキングの活用により、会計処理の手続きの効率が図れた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

職員会議や朝の打合せ等で県教育委員会からの通知や啓発・点検資料や綱紀保持の通知等を全

職員に周知するとともに、毎月定期的に不祥事防止会議を開催することで意識の向上を図ることができた。その結果「令和4年度元石川高等学校不祥事ゼロプログラム」は、概ね目標を達成することができた。部活動や学校行事が盛んな本校において、令和5年度も引き続き、「体罰・不適切な指導の防止」に取り組み、根絶に努める。また、「入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止」に重点的に取り組み、校内研修を実施して事故・不祥事の未然防止を図っていく。令和3年9月に県教育委員会で「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」が策定されたことも踏まえ、改めて教育公務員としての自覚を促し、不祥事を起こさない環境づくりに向けた意識を全職員に徹底していきたい。